

# 「学びの多様化学校」めぐり活発な質疑

4日から常任委員会審査が行われました。文教経済常任委員会の審査で注目したのは「学びの多様化学校」に関する所管事務調査です。

すでに今春、検討委員会が設置されて検討が始まっていましたが、不登校児童生徒（昨年度、小学校では140人、中学校では264人）が急増しており、2026年（令和8）4月に「学びの多様化学校」を開校すると報告がありました。対象は市内の中学生で、受け入れ人数は1学年6～8人程度。学校は来年3月に閉校する諏訪小学校が候補で、雄志中学校の分校とするとしています。開校すれば、全国で30数番目、県内では初となり

ます。市教委では、来年の3月議会で関係条例の整備と予算を決め、今年度中に文部科学省に設置方針の報告をしたいとのことです。

委員からは、「ビジョン作成にあたりモデルとした学校はあるか」（降旗委員）「設置場所は検討委員会で決めたのか」（山本委員）「小学校から中学校まで受け入れる学校にできなかったのか」（上野委員）「学びの場所と共に子どもがリラックスできる子どもの居場所という面も保障できるようにすべきでないか」（上野委員）などの質問が出ました。

これにたいして市教委側は、「先進校



35校の中の取組を確認しながらやってきた」「検討委員会では場所の議論をしていない。市教委で決めた」「小学校とも連携できる体制を作っていく」「校舎のなかにもリラックスできる居場所を作りたい」などと答えていました。



「経営悪化の一番の理由は診療報酬の改定だ。国への要望はどうなっているか」「コミュニケーションはもっと具体的に示すべきではないか」「老朽化が進んでいる、切羽詰まっていたのではないか」などの質問が相次ぎました。

行政側は、「もっとはっきりしたものが出されないと（基本設計着手の）判断ができない。診療報酬などはこの2年間で変わると

上越市は2020年（令和2）3月に策定した上越地域医療センター病院の基本計画について、改築に向けて本年度中の基本設計着手を目指し、計画の見直し作業を進めてきました。ところが、6日の市議会厚生

構想にかかわる議論の動向などを総合的に勘案し、いったん立ち止まり、2026年度まで2年間の様子を見て（基本設計着手をするかどうかの）判断をするとの方針を示したのです。

私もお立ち止まって2年後に結論出すというが、この病院はなくせない。修繕して済むような話でもない。いままでの流れに沿って（速やかに建て替えの）計画を実行するという決断をするのが市民の命と安全を守るうえでベストだ」と訴えました。

## 上越地域医療センター病院改築基本設計先送りに異議あり



【クロホオズキ】（再掲）ナス科の1年草。漢字で「黒鬼灯」と書きます。私がこの花を初めて見たのは吉川区代石の吉川橋の少し上流でした。私は60代になっていました。先日、「何の花か見に来て」と言われた原之町のKさん。高齢になって初めてこの花に出合ったようです。花言葉は「可憐な愛」。写真は10月23日、大島区竹平にて撮影。

はしづめ法一の  
活動レポート

**No.2184 2024.12.15**  
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3627  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索



# 春よ来い

## 第八三一回

## 冬の料理

雪が降り、寒くなって煮付けや煮物が美味しい季節になりました。

先日、議会が早めに終わったので、K子さんの家にお邪魔したところ、Eさんともにお茶を飲んでおられました。私も仲間にしてもらい、お茶だけでなく、鱧(たら)の煮付けや大根、チクワなどの煮物をご馳走になりました。

私はこの時期の食べ物としては煮付けや煮物が大好きで、なかでも鱧の煮付けは冬の間は一度は食べないと気が済みません。鱧の肉は柔らかくなくても煮崩れしないし、何よりも美味しい。ひと月ほど前、糸魚川市へ行った帰り道、名立ドライブインに寄って鱧汁定食を食べることができました。今度は鱧の煮付けを地元で食べさせてもらえたら……。うれしかったですね。

K子さんのところには日頃から同年代のお母さんたちが寄ってお茶会をされていますが、この日も何人かで楽しいひと時を過ごされたようです。鱧の煮付けを出してくださるときにK子さんは、「まだ、誰かが来る予感がしたの。少し残しておいてよかった」と言われました。

鱧を食べはじめた段階で、K子さん、今度は台所から大根、チクワ、コンニャクなどが入った煮物も持ってきてくださいました。そして、「おまんちのばちャのコンニャクは最高だったね」とほめてくださいました。母の手作りコンニャクは一時期、大島区の青空市場にも出していたことがあったのですが、わが家の近くに住むK子さんの口にも入っていたんですね。

私は出していたいたものは遠慮なくいただきます。鱧はふた切れ食べ、大根、チクワなどもいただきました。いずれもよく煮込んであって、味がよくしみ込んでいます。「いやー、うまい」と言うと、K子さんも喜んでくださいました。

この日、私がK子さんのところにお邪魔

したのは、K子さんと仲良しで同級生でもあるYさんの近況について話をしたかったからです。最近、Yさんの姿が見えないのであちこちに聞いたたら、春まで介護施設に入っておられることがわかりました。K子さんに会えば、Yさんのことを詳しく聞けるかも知れないと思ったのです。

お茶をご馳走になりながら話を聞こううちに、Yさんに携帯電話してみたくなりました。時間は午後四時少し前、施設にいる人にかけるには丁度いい時間帯でした。

呼び出し音が三回ほど鳴った段階で、Yさんは電話に出てくださいました。

「もしもし、橋爪です。ご無沙汰してます。元気かいね」

「元気だよ」

「そい、そりゃ良かった。いまねえ、K子さんどこにいて、お茶ごっつおになつているがど。春までがんばってくんないね」

「がんばるよ、おまんも頑張ってるね」

短いやりとりでしたが、電話からは、Yさんのいつもの元気な声が聞こえてきて安心しました。

Yさんの声はスマホからあふれ出ていました。本来なら、K子さんなどと一緒にお茶を飲んでいても不思議ではない間柄です。みんな心配していたので、Yさんの声を聞いて、「良かった、良かった」と喜び合いました。

再び食べることに一生懸命になりました。そして、Yさんのところでも何度か美味しい料理をご馳走になったことがあることを思い出しました。Yさんも自宅にいた時は同級生などを呼んで、美味しいものを振舞っていました。

米山さんも尾神岳も白くなりました。寒さはこれから本番。でも、もう百日ほど我慢すれば暖かい春がやってきます。Yさんが戻ってきたら、今度はウドなどの山菜料理をみんなで味わいたいものです。

## 直江津マルシェクリスマス、賑わう

8日、朝市宣伝のついでに「直江津マルシェクリスマスinライオン像のある館」に行ってきました。若い人を中心に大勢の人たちで賑わっていました。お店はお菓子屋さん、総菜屋さん、アクセサリー屋さんなどいろんなお店が出ていました。



このイベントも直江津の地域おこしの一環です。若い人たちの頑張りが見え、いいなと思いました。私はいれたてのコーヒーを飲み、コ

ロケとメンチカツを購入してきました。とても美味しかったです。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月4日(水)	12月11日(水)
上越消防署	0.050	0.056
上越南消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.070	0.057
高士分遣所	0.050	0.057

## 冷たい雨の中でも



直江津の朝市、三ハ市は屋根がないので、冬が大変です。

8日は冷たい雨風が吹いたこともありお店はわずか9軒。そんな中で、Oさんは練炭コンロで手をあぶりながら頑張っていました。ご苦労さまです。



# 春よ来い

## 第八三一回

## 冬の料理

雪が降り、寒くなって煮付けや煮物が美味しい季節になりました。

先日、議会が早めに終わったので、K子さんの家にお邪魔したところ、Eさんともにお茶を飲んでおられました。私も仲間にしてもらい、お茶だけでなく、鱈(たら)の煮付けや大根、チクワなどの煮物をご馳走になりました。

私はこの時期の食べ物としては煮付けや煮物が好きで、なかでも鱈の煮付けは冬の間は一度は食べないと気が済みません。鱈の肉は柔らかくなくても煮崩れしないし、何よりも美味しい。ひと月ほど前、糸魚川市へ行った帰り道、名立ドライブインに寄って鱈汁定食を食べることができました。今度は鱈の煮付けを地元で食べさせてもらえたら……。うれしかったですね。

K子さんのところには日頃から同年代のお母さんたちが寄ってお茶会をされていますが、この日も何人かで楽しいひと時を過ごされたようです。鱈の煮付けを出してくださるときにK子さんは、「まだ、誰かが来る予感がしたの。少し残しておいてよかった」と言われました。

鱈を食べはじめた段階で、K子さん、今度は台所から大根、チクワ、コンニャクなどが入った煮物も持ってきてくださいました。そして、「おまんちのばちャのコンニャクは最高だったね」とほめてくださいました。母の手作りコンニャクは一時期、大島区の青空市場にも出していたことがあったのですが、わが家の近くに住むK子さんの口にも入っていたんですね。

私は出していたいたものは遠慮なくいただきます。鱈はふた切れ食べ、大根、チクワなどもいただきました。いずれもよく煮込んであって、味がよくしみ込んでいます。「いやー、うまい」と言うと、K子さんも喜んでくださいました。

この日、私がK子さんのところにお邪魔

したのは、K子さんと仲良しで同級生でもあるYさんの近況について話をしたかったからです。最近、Yさんの姿が見えないのであちこちに聞いたたら、春まで介護施設に入っておられることがわかりました。K子さんに会えば、Yさんのことを詳しく聞けるかも知れないと思ったのです。

お茶をご馳走になりながら話を聞こううちに、Yさんに携帯電話してみたくなりました。時間は午後四時少し前、施設にいる人にかけるには丁度いい時間帯でした。

呼び出し音が三回ほど鳴った段階で、Yさんは電話に出てくださいました。

「もしもし、橋爪です。ご無沙汰してます。元気かいね」

「元気だよ」

「そい、そりゃ良かった。いまねえ、K子さんどこにいて、お茶ごっつおになってるがど。春までがんばってくんないね」

「がんばるよ、おまんも頑張ってるね」

短いやりとりでしたが、電話からは、Yさんのいつもの元気な声が聞こえてきて安心しました。

Yさんの声はスマホからあふれ出ていました。本来なら、K子さんなどと一緒にお茶を飲んでいても不思議ではない間柄です。みんな心配していたので、Yさんの声を聞いて、「良かった、良かった」と喜び合いました。

再び食べることに一生懸命になりました。そして、Yさんのところでも何度か美味しい料理をご馳走になったことがあることを思い出しました。Yさんも自宅にいた時は同級生などを呼んで、美味しいものを振舞っていました。

米山さんも尾神岳も白くなりました。寒さはこれから本番。でも、もう百日ほど我慢すれば暖かい春がやってきます。Yさんが戻ってきたら、今度はウドなどの山菜料理をみんなで味わいたいものです。

## 直江津マルシェクリスマス、賑わう

8日、朝市宣伝のついでに「直江津マルシェクリスマスinライオン像のある館」に行ってきました。若い人を中心に大勢の人たちで賑わっていました。お店はお菓子屋さん、総菜屋さん、アクセサリー屋さんなどいろいろなお店が出ていました。

このイベントも直江津の地域おこしの一環です。若い人たちの頑張りが見え、いいなと思いました。私は入れたてのコーヒーを飲み、コロッ



ケとメンチカツを購入してきました。とても美味しかったです。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月4日(水)	12月11日(水)
上越消防署	0.050	0.056
上越南消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.070	0.057
高士分遣所	0.050	0.057

## 川谷の県道災害復旧工事、完了まで7年も

吉川区川谷地区の県道地滑り(2022年3月16日発生)災害復旧工事について4日、地元説明会が行われました。

私は市議会本会議でしたので、参加できませんでしたが、その後、市役所都市整備部から説明していただきました。それによると、すでに災害復旧工事の設計が完成し、11月

8日に県と国の事前協議が完了したということです。これで災害復旧事業申請が正式に行われ、現地査定も終了しました。

災害復旧工事は来年度の雪解けを待って着手される予定で、工期は来年度から7年間だとのこと。工事費は18億円弱となる見込みです。大規模工事となりました。



# 春よ来い

## 第八三一回

## 冬の料理

雪が降り、寒くなって煮付けや煮物が美味しい季節になりました。

先日、議会が早めに終わったので、K子さんの家にお邪魔したところ、Eさんともにお茶を飲んでおられました。私も仲間にしてもらい、お茶だけでなく、鱈(たら)の煮付けや大根、チクワなどの煮物をご馳走になりました。

私はこの時期の食べ物としては煮付けや煮物が好きで、なかでも鱈の煮付けは冬の間は一度は食べないと気が済みません。鱈の肉は柔らかくなくても煮崩れしないし、何よりも美味しい。ひと月ほど前、糸魚川市へ行った帰り道、名立ドライブインに寄って鱈汁定食を食べることができました。今度は鱈の煮付けを地元で食べさせてもらえたらいいですね。

K子さんのところには日頃から同年代のお母さんたちが寄ってお茶会をされていますが、この日も何人かで楽しいひと時を過ごされたようです。鱈の煮付けを出してくださるときにK子さんは、「まだ、誰かが来る予感がしたの。少し残しておいてよかった」と言われました。

鱈を食べはじめた段階で、K子さん、今度は台所から大根、チクワ、コンニャクなどが入った煮物も持ってきてくださいました。そして、「おまんちのばちャのコンニャクは最高だったね」とほめてくださいました。母の手作りコンニャクは一期、大島区の青空市場にも出していたことがあったのですが、わが家の近くに住むK子さんの口にも入っていたんですね。

私は出していたいたものは遠慮なくいただきます。鱈はふた切れ食べ、大根、チクワなどもいただきました。いずれもよく煮込んであって、味がよくしみ込んでいます。「いやー、うまい」と言うと、K子さんも喜んでくださいました。

この日、私がK子さんのところにお邪魔

したのは、K子さんと仲良しで同級生でもあるYさんの近況について話をしたかったからです。最近、Yさんの姿が見えないのであちこちに聞いたたら、春まで介護施設に入っておられることがわかりました。K子さんに会えば、Yさんのことを詳しく聞けるかも知れないと思ったのです。

お茶をご馳走になりながら話を聞こううちに、Yさんに携帯電話してみたくなりました。時間は午後四時少し前、施設にいる人にかけるには丁度いい時間帯でした。

呼び出し音が三回ほど鳴った段階で、Yさんは電話に出てくださいました。

「もしもし、橋爪です。ご無沙汰してます。元気かいね」

「元気だよ」

「そい、そりゃ良かった。いまねえ、K子さんどこにいて、お茶ごっつおになつているがど。春までがんばってくんないね」

「がんばるよ、おまんも頑張ってるね」

短いやりとりでしたが、電話からは、Yさんのいつもの元気な声が聞こえてきて安心しました。

Yさんの声はスマホからあふれ出ていました。本来なら、K子さんなどと一緒にお茶を飲んでいても不思議ではない間柄です。みんな心配していたので、Yさんの声を聞いて、「良かった、良かった」と喜び合いました。

再び食べることに一生懸命になりました。そして、Yさんのところでも何度か美味しい料理をご馳走になったことがあることを思い出しました。Yさんも自宅にいた時は同級生などを呼んで、美味しいものを振舞っていました。

米山さんも尾神岳も白くなりました。寒さはこれから本番。でも、もう百日ほど我慢すれば暖かい春がやってきます。Yさんが戻ってきたら、今度はウドなどの山菜料理をみんなで味わいたいものです。

## 直江津マルシェクリスマス、賑わう

8日、朝市宣伝のついでに「直江津マルシェクリスマスinライオン像のある館」に行ってきました。若い人を中心に大勢の人たちで賑わっていました。お店はお菓子屋さん、総菜屋さん、アクセサリー屋さんなどいろいろなお店が出ていました。

このイベントも直江津の地域おこしの一環です。若い人たちの頑張りが見え、いいなと思いました。私は入れたてのコーヒーを飲み、コロッ



ケとメンチカツを購入してきました。とても美味しかったです。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月4日(水)	12月11日(水)
上越消防署	0.050	0.056
上越南消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.070	0.057
高士分遣所	0.050	0.057

## 今年のミカンは豊作



先日、吉川区神田町の方からミカンをいただきました。色も形も自然な感じがしてどんな味かと思っていたのですが、とてもジューシーで美味しい味でした。

何軒かに今年のミカンの出来について聞きましたが、今年は豊作だということです。市内でもミカンが育つのはうれしいですね。